

来年はドバイに旅しよう！

## 2020年、ドバイで注目のニューオープン&イベント情報をご紹介

～2019年1月～9月の日本人宿泊旅行者数は前年比6.1%増！～

ドバイ政府観光・商務局より、2020年、ドバイで必ず訪れてほしい注目の新規オープン施設とイベント情報をお届けします。ドバイを訪れる日本人宿泊旅行者は2019年1～9月期、6.1%の増加（前年比）となり、旅行先としての注目が高まっています。ドバイを皆様により楽しんでいただける情報をご紹介します。

日本では大きなスポーツの祭典を迎える2020年、ドバイでも中東・アフリカ地域初のEXPO開催という大きなイベント（同年10月20日スタート）が控えており、両国にとって2020年は特別な年となります。ドバイではこれまで以上に多様な施設オープンと多数のイベント開催を予定しており、その進化はまだまだ続きます。ギネス記録を塗り替える予定の建物や、今まで出会ったことのない全く新しいコンセプトの施設など、注目スポット&イベント情報を一挙まとめてお届けします。

また、年末年始にドバイでショッピングを楽しむ方に向けて、最新のVAT（付加価値税）払い戻しサービスについても、より分かりやすくご紹介します。

### 2020年必ず訪れたい！これからオープンする最新施設情報！

#### ➤ エイン・ドバイ（2020年完成予定）



人工島「ブルーウォーターズアイランド」内に建設中で、完成すると世界一大きな観覧車となる『エインドバイ』は、いよいよ2020年に完成予定です。高さ250メートルの巨大観覧車から見える美しい海岸沿いの風景から、バージュ・アル・アラブ、パームジュメイラ、そしてバージュ・カリファといったドバイを象徴する建物の数々を眺めることができ、まさに新たなドバイの絶景スポットとなること間違いなしです。

公式HP：<https://www.bluewatersdubai.ae/en/>

#### ➤ ミュージアム・オブ・ザ・フューチャー（2020年オープン予定）

3Dプリンターでオフィスを作るなどの試みで知られるドバイ・フューチャー・ファンデーションによって設立された『ミュージアム・オブ・ザ・フューチャー』は、世界最大級のイノベーションを来場の皆様が体験できるように作られた、未来のテクノロジーを感じられる新しいコンセプトの博物館です。近未来の技術を駆使したワークショップや講演なども開催が予定されており、技術革新をともに感じ、考えていくことが出来ます。

公式HP：<http://www.museumofthefuture.ae/>



➤ **メイダーン・ワン・モール (2020年オープン予定)**

2020年にオープン予定の『メイダーン・ワン・モール』は、現在ドバイで最大のショッピングモールである「ドバイモール」を超え、完成するとドバイで最大のショッピングモールとなります。モールには屋内外のスペースが融合し、約1キロメートルの長さのスキー場、ヘリテージヴィレッジ、ホテルやホテルアパートメント、「バージュ・カリファ」の展望台“At The Top”よりも100メートル高い展望台や、約4,000平方メートルの中東エリア初となる屋内ゴーカート場が完成する予定です。さらに、21のスクリーンを完備した映画館、そして190の飲食店と、550店舗の高級ブランドから日用品といったものまで幅広い年代の皆様がショッピングをお楽しみいただけるモールとなります。また、ラグーンエリアには、ビーチ、ウォータースポーツ体験やビーチクラブが完備されており、ショッピングのみならず、新たなエンターテインメントスポットとしてもお楽しみいただけること、間違いなしです。

公式HP：<http://realestate.meydan.ae/en/projects/meydan-one-mall>

➤ **ドバイ・クリーク・ハーバー (2020年オープン予定)**



ドバイのダウンタウンからも、ドバイ国際空港からも車で約10分という大変便利なロケーションに位置する『ドバイ・クリーク・ハーバー』は、ウォーターフロントエコリゾートやマリナー、ヨットクラブといった複数の用途に向けて開発されています。広大な小売向けエリアおよび公園やオープンスペースエリアとなる予定です。港の中心となる「ドバイスクエア」では、豊富な品揃え、ユニークな食事のコンセプト

ト、そして世界規模のレジャーアトラクションをご用意します。なお、港の中心には、現在“世界一高いビル”としてギネス記録を持つ「バージュ・カリファ」の記録を塗り替えるといわれる新たな観光スポット「ドバイ・クリーク・タワー」を建設中です。

公式HP：<https://www.emaar.com/en/our-communities/dubai-creek-harbour/dubai-creek-tower>

**2020年、ドバイに行くなら必ずステイしてほしい…最新宿泊施設をご紹介します！**

➤ **ロイヤル・アトランティス・レジデンス&リゾート (2020年開業予定)**



アトランティス・リゾート系列で新たに開業する予定の『ロイヤル・アトランティス・レジデンス&リゾート』は、231のレジデンス、795の客室、16のレストランやプールなどの施設を完備して、お客様をお迎えします。海沿いに位置する、斬新で美しいデザインの当ホテルでの滞在は、2020年という節目の1年を忘れられないものにしてくれるはずです。滞在中は、館内に新たにオープン予定の世界各国からの選りすぐりのシェフや、ミシュラン星付きシェフのレストランにて多国籍な料理の数々をお楽しみください。

参考ウェブサイト：<https://www.thenational.ae/lifestyle/home/inside-the-royal-atlantis-residences-resort-in-dubai-in-pictures-1.787473>

➤ **ローブ・ラ・メール・リゾート（2020 年下期開業予定）**

アラビア湾や美しいドバイの街並みを堪能できる『ローブ・ラ・メール・リゾート』は、人気ビーチフロント地区の「ラ・メール」に位置しています。366 の客室を備え、リーズナブルな価格、近代的でトレンドをしっかり押さえているホテルを探している方にはピッタリのホテルです。

公式 HP : <https://www.rovehotels.com/>



**2020 年、ドバイに行くべき理由とは…参加必須のイベント情報**

➤ **ドバイ・フード・フェスティバル（DFF）**



『ドバイ・フード・フェスティバル』は、中東で唯一の街をあげての食の祭典で、ドバイの美食を余すところなく紹介すべく、毎年恒例で開催しています。このフェスティバルでは、食に関連するイベントの開催やプロモーションを行い、ドバイのユニークな食の側面をお楽しみいただけます。200 以上の国籍の人々が住むドバイで、多国籍な美食の数々をご堪能ください。

開催期間：2020 年 2 月～3 月（詳細未定）

公式 HP : <https://www.visitdubai.com/en/dff>

➤ **ドバイ・ショッピング・フェスティバル（DSF）**

『ドバイ・ショッピング・フェスティバル』は、毎年恒例のショッピングの祭典で、花火やコンサート、くじ引きなども行われます。2019 年の開催では、今まで以上の割引率でショッピングをお楽しみいただけたり、ポップアップでのファッションショーや車や現金といった豪華賞品が当たる抽選会が行われ、大盛況となりました。2020 年の目玉企画にも是非ご期待ください。

開催期間：2019 年 12 月 26 日（木）～2020 年 2 月 1 日（土）

公式 HP : <https://www.visitdubai.com/ja/events/dubai-shopping-festival>



➤ **ドバイ・ワールドカップ 2020**



ドバイで開催される世界最高峰の競馬イベントとして世界でトップクラスの馬が集い、最高賞金を狙って熱い戦いを繰り広げる『ドバイ・ワールドカップ 2020』が来年も帰ってきます。ドバイの街全体が盛り上がる年に一度の競馬の祭典、今年も見逃せません。

開催期間：2020年3月28日（土）

公式 HP：<http://www.dubairacingclub.com/visit/racing-season/dubai-world-cup>

**2019年1月～9月の日本人宿泊旅行者数は前年比6.1%増！**

2019年1月～9月にドバイを訪れた日本人宿泊旅行者数は、前年同期と比べて6.1%と増加し、81,613人となりました。今年に入り2回実施したプレスツアーによる露出の増加に加えて、コカ・コーラ社「ジョージア」のTVコマーシャルやキャンペーンでの露出の増加が要因と考えられます。さらに、5月より実施した株式会社エイチ・アイ・エスと女子旅プレスとの共同キャンペーンによるドバイへのモニターツアー企画やTVコマーシャル放映、そしてDeNA Travel (エアトリ)とのプロモーションで日本人宿泊旅行者数の増加につながりました。現在、エミレーツ航空と協同で「ナニコレ！キャンペーン」を実施しており、TVコマーシャルやSNSを通じて、さらなるドバイの魅力をお届けしています。

**よりお得にショッピングを楽しもう！VAT（付加価値税）払い戻しサービスお手続きのご案内**

ドバイでは2018年11月18日より海外からの来訪者18歳以上を対象に、VAT(付加価値税)払い戻しサービスがスタートしています。同年1月1日より導入された5%のVAT(付加価値税)の85%が手続きを行うことで還元されるようになり（免税タグごとにAED 4.80の手数料がかかります）ドバイでのショッピングをよりお得に楽しむことができます。

免税品購入時の手続き

- ・100%デジタル
- ・最低購入金額 AED 250

**<ショッピングにて>**

1. 対象商品を購入します。
  2. U A E 入国時に提示したパスポート情報を提示します。
  3. 店員は、購入金額を入力します。
  4. 免税タグが、商品のレシート裏面に貼付されたことを確認してください。
  5. 免税タグがスキャンされ、パスポートと購入履歴がリンクされます。
- 免税タグとレシートは、U A E 出国時に必要になりますので、大切に保管してください。

## 免税品申請方法



### <空港にて>

エミレーツ航空による日本（成田、羽田、関空）への直行便出発は第3ターミナルです。そのターミナルで手続きできます。その他のドバイの空港・港でも同様に手続きできます。

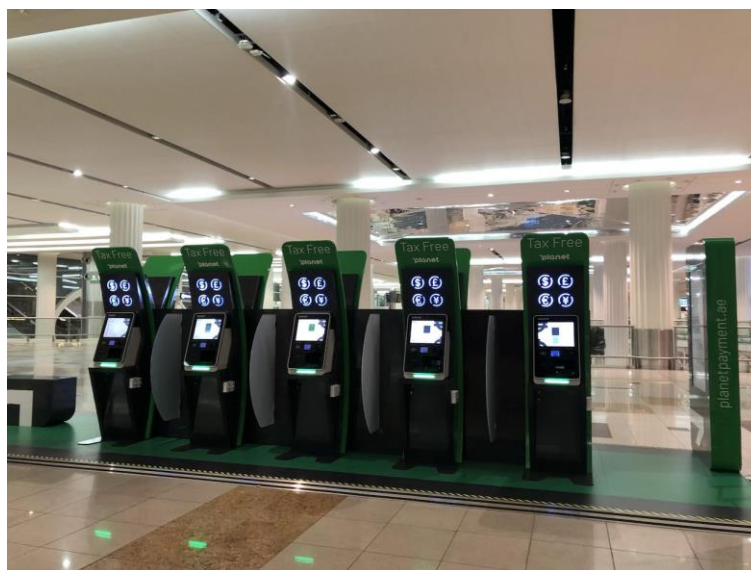
写真の「planet」が申請場所となりますのでまずこのマークの場所を空港内で見つけてください。

### <係員のいるカウンターでの手続き>

荷物チェックイン前に免税手続きの planet カウンターへ行きます。指示に従い、パスポート、購入商品のレシート、要求があった場合、購入商品を提示します。係員の指示に従ってください。

### <係員のいるカウンター横のマシーンで自分で行う手続き>

カウンターのそばに複数機ある、自分で手続きするマシーンで申請することもできます。



以下、手続きマシーンを利用の場合、

1. 画面に表示される指示に従ってください。

パスポートをスキャンまたはパスポート番号を入力します。

入力すると、パスポートに購入情報が付加されており、自動的に認識されます。\*レシートに関する処理が必要となった場合は画面の指示に従ってください。

搭乗便の QR コードをスキャンします。QR コードの読み取りがなされない時は手動で搭乗便の情報を入力します。

2. 緑色ランプがついたら、申請完了です。

3. 赤色ランプがついた場合は、スタッフに連絡ください。

4. ご希望の返金方法を選択し（クレジットカード、デビットカードまたは現金）、払い戻しを処理します\*

\*現金での払い戻しを選択した場合は、最大払い戻し金額は AED 10,000 です。この金額を超える場合の払い戻しの返金方法は、クレジットカードまたはデビットカードを選択してください。

\*画面の表示に従ってください。例えば現金での払い戻しを指定した場合、その場では返金されず、出国審査後のゲート近くの別カウンターに行き、そこで受け取ることになります。

\*免税タグの有効期限は、商品購入日から 90 日以内です。

\*エミレーツ航空による日本（成田、羽田、関空）への直行便出発は第 3 ターミナルです。そのターミナルで手続きできます。

詳しくは、公式 HP : <http://www.planetpayment.ae/>をご覧ください。

ニュースリリースとは別にお送りしている、ドバイの最新情報などを記載したメールニュースをご希望の方は、[pr@visit-dubai.jp](mailto:pr@visit-dubai.jp) までお問い合わせください。

### ドバイ政府観光・商務局について

ドバイが世界を代表する観光地として商業の中枢を担うというビジョンのもと、ドバイ政府観光・商務局は世界中のオーディエンスのドバイに対する認知度の拡大、及び首長国への対内投資の牽引を使命としています。本国の観光分野における計画、管理、開発、そしてマーケティングにおける主要局であり、首長国の商業分野のマーケティングやプロモーション、また宿泊施設や旅行案内業者を含めた全ての観光サービスの許認可及び種別分類を担当しています。ドバイ政府観光局内のブランドや部門には、ドバイ・コンベンションやイベント局、ドバイ・フェスティバル、小売事業所（旧：ドバイイベントプロモーション事業所）が含まれます。ドバイ本局に加え、世界中に 20 か所のオフィスが設けられています。

URL : <https://www.visitdubai.com/ja>

公式 Facebook : <https://www.facebook.com/visitdubai.JP/>

公式 Twitter : [https://twitter.com/visitdubai\\_jp](https://twitter.com/visitdubai_jp)

公式 Instagram : <https://www.instagram.com/visitdubai.jp/?hl=ja>